

【10/16（火）資料より抜粋】

「きらり・たちかわ」が、市民参加による編集がなされたり、魅力的な特集記事などが増えりしたことによって、多くの人に親しまれる内容にリニューアルされたことは評価できます。

一方で、市民への周知方法には課題があります。紙媒体を配布したり ~~ホームページへの掲載があります~~ ホームページに掲載したりしていますが、ホームページに「きらり・たちかわ」の見方を載せることや、自治会を活用した配布も効果的です。同時に、幅広い世代が集まる児童館や健康会館での配布や、障害当事者や日本語が読めない多文化の方でも活用できるよう、行政内の横の連携も課題です。

~~誰に何を届けたいのか、情報の質と量によって利用すべき媒体が多様化することは十分理解できることです。若者に対しては圧倒的に電子媒体である SNS による情報提供が効果的であることは明らかです。また、社会参加に制約がある人々への情報提供は、圧倒的に口コミが有効だと思われま~~
すので、人的なネットワークを地道に生かして興味を持ってもらうことも急務です。若者に対しては圧倒的に電子媒体である SNS による情報提供が効果的であり、社会参加に制約がある人々への情報提供は、圧倒的に口コミが有効だと思われま
すので、人的なネットワークを地道に生かすなど、対象に応じた手段を講じる必要があります。

現状の広報活動に対する評価として、各種媒体の内容の充実や分かりやすさについて、講座等でのアンケート結果を分析し、見せ方や配置の改善につなげていくことが期待されます。

（修正理由：文脈が不明だから。また、内容が分かりにくいから）

【10/16（火）会議録より】（会長によるまとめ）

「きらり・たちかわ」の内容は良くなったものの周知方法に課題があるので、配架場所を工夫してほしいということ、情報にたどり着きやすいようにホームページの掲載方法を工夫してほしいということ、社会参加に制約がある人への情報提供方法を同時に考えてほしいということ、そして今言った実態把握のことをまとめたいと思います。

↓

【事務局作成 たたき台案】

「きらり・たちかわ」が多くの人に親しまれる内容にリニューアルされたことは評価できます。

一方で、市民への周知方法には課題があります。読者層を意識した配架場所の選定が求められます。また、電子媒体を活用し、市民が知りたい情報に辿り着きやすくする工夫も必要です。市ホームページでは既に公開しているようですが、閲覧や検索のしやすさなど更なる工夫の余地があります。

社会参加に制約がある人に対しては、口コミの活用も有効だと思われます。人的なネットワークを地道に生かすなど、対象に応じた手段を講じる必要があります。

講座参加者に対するアンケートの分析などにより、講座などの情報がどのようにして市民に伝わっているかの実態を捉え、より効率的な情報提供がなされるよう努力されることに期待します。